

型競技規定

採点の基準

(1) 7点を基準点とし、減点法、加点法の併用により3点まで加点することができ10点満点で競う。

減点、加点の基準は次の通りとする。

- 動作の正確さ
- ① 立ち方、突き、蹴り、打ち、受けのそれぞれの技が正確であること。
 - ② 中間動作が適切であり、ムダ動きがないこと。
 - ③ 重心の移動バランスに優れていること。
- 技の緩急
- ① 早く動くべきところが早く動けること。
 - ② 緩やかに動くべきところが緩やかに動けること。
 - ③ 連続動作が用法に即したりズムで動けていること。
- 力の強弱
- ① 力の入れるべき所に適当な力が入っていること。
 - ② 力を抜くべき所で力が抜けていること。
 - ③ 技の威力が表現できていること。
- 息の調整
- ① 息吹や気合いが適切にできているか。
 - ② 呼吸の乱れがなく動作との調和が図れているか。

(2) 上記の各項目について、各1点ずつ配点があり0.25単位で4段階

(0.25、0.5、0.75、1.0)で減点または加点を行うことができる。

(3) 上記の他に次の項目で減点または失格とすることがある。

- ① 決勝で事前に申告した型名と実際の演武型が異なる場合(失格)
- ② 演武開始時選手が言う型名と実際の演武型が異なる場合(失格)
- ③ 競技場から両足が出てしまった場合(失格)
- ④ 競技場から片足が出てしまった場合(減点)
(線を踏む0.5減、足が出る1.0減)
- ⑤ 型演武を中断した場合は失格。一時的な中断の場合は、主審の判断で合議の上、1.5以下の減点をする。
- ⑥ 型の動作をとばしてしまった場合(2.0以下の減点または失格)
- ⑦ その他の問題が生じた場合は主審が判断し、合議の上判断する。
- ⑧ 判断に迷う場合は、型競技審判長の裁可に従う。